

## Contents

- 
- 2 ..... 年頭ごあいさつ  
第42回農業委員会情報紙コンクール  
福島県農業会議会長賞最優秀賞及び福島県知事賞受賞
  - 3 ..... Agri Interview、Topics
  - 4 ..... News
  - 5 ..... 農地流動化情報、農業者年金
  - 6 ..... 地区だより、今号の表紙から



# 年頭ごあいさつ



いわき市農業委員会  
会長 蜂田元起

令和8年の新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

す。昨年は特に記録的な猛暑とそれに伴う水不足により、農作物の品質や収量の低下が懸念されました。加えて米不足です。国・生産者・流通業者・消費者を巻き込んだいわゆる「令和のコメ騒動」。令和7年産米が出始めても騒動は収まつていらないような気がしています。

米不足だからということではないのですが、食料安定供給のため国が力を入れて いる農業政策の一つが「地域計画」です。農地の将来を見つめ、地域の農地をだ

本年も皆様には幸多き年となりますよう、心から祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

昨年7月以来農業委員が1名欠員になつてゐたのですが、昨年11月より勿来地区の加茂直雅氏が新委員として加わることになりました。今後の活躍を大いに期待しております。

農業関係機関や団体との連携をさらに強化し、地域の皆様とともに農業の持続的発展のため全力で取り組んでいく所存です。

本委員会は農地の所有権移転や転用等の許認可業務のほか、農地の集積、遊休農地の解消、新規参入の促進等について委員と職員が力を合わせて活動しております。また、農業者の代表として、

9 地区においてそれぞれの地区の地域計画を策定したところで、地域計画の実行性を高めるため、本年も「地区との話し合い」を継続し、地域のより綿密な意向把握に努めてまいります。

これが利活用し、農地をどのようにまとめていくのかについて、「地区との話し合い」を各地で開催して、昨年度市とともに市内の12

いわき市農業委員会だより  
「TAGAYASU」No.203が  
第42回農業委員会情報紙コンクール  
福島県農業会議会長賞最優秀賞・福島県知事賞受賞

昨年10月9日(木)、一般社団法人福島県農業会議主催の第42回農業委員会情報誌コンクール審査会が福島県農業会議役員室で開かれ、いわき市農業委員会発行の「いわき市農業委員会だよりTAGAYASU No.203」が福島県農業会議会長賞最優秀賞と福島県知事賞に選ばれました。

いわき市農業委員会だよりの最優秀賞と県知事賞のダブル受賞は、第1回コンクールの開始以降、第22回

の受賞となりました。

なお、昨年10月10日（金）発行の福島民友新聞にも、今回の受賞に関する記事が掲載されています。

# TAGAYASU

いわき市農業委員会より



## Contents

- 2……年譜ごあいさつ
  - 3……Agri Interview、Topics
  - 4……News
  - 5……農地流動化情報、農業者年鑑
  - 6……地区だより、今号の表紙如何

▲今回、受賞したいわき市農業委員会だより「TAGAYASU」No.203



## 日本梨づくり100年の伝統を引継ぎ、日本梨の魅力を世界に広めていきたい

平上平窪  
ね もと たい が

根本大我さん(37歳)

今回ご紹介するのは、平上  
平窪地区の根本大我さんで  
す。

前職は、8年間ファッショ  
ンブランド企業に勤めてい  
ます。

代々100年続く日本梨農  
家の長男として生まれた大我  
さんですが「7代目としてい  
つかは、自分も後を継ぎ伝統  
を守る」と心に決めていたそ  
うです。

梨農家をついで10年、引継  
いだ当初の圃場は100a、  
今では150aまで規模拡大  
しました。大我さんの育てた  
梨の評価は、玉つぶが大きく  
糖度も高く、ジューシーで美味  
しいとSNSやネットで評判  
です。

栽培のこだわりを聞くと、  
「品質第一、梨を育む地力を  
上げるため稻わらなど自然由  
來のものを肥料に混ぜ、環境  
で」

に優しい栽培方法にこだわっ  
ています」とのことでした。

ジエトロのプロジェクトで  
7年前からベトナムに輸出を  
始めました。自身もホーチミ  
ンに行き対面販売したところ  
飛ぶようになっていったとの  
ことです。

「これを皮切りに、他国に  
もいわき梨の美味しさや生産  
者の誇りを広めていき、世界  
で勝負がしたいです」と語気  
を強める大我さん。

大我さんが今後も地域の先  
導者としてはもちろんのこ  
と、いわき梨の普及のため  
益々活躍される事をおおい  
に期待したいと思います。

これからもしっかりとお米を守って働いて?  
下さいね。お願いします。

(撮影・執筆 鈴木義直)

晚秋にたたずむ  
「くさかりかかし」さん



【販売先】根本果樹園、田舎ん  
ぼ、ワンドーファーム、道の  
駅小名浜

(撮影・執筆 鈴木義直)

した。スズメの被害が多いこの場所では、以  
前爆音機を使っていましたが、住宅の近くで  
は苦情が多く、使用ができなくなりました。  
それで色々試してみたら、「かかし」が一番効  
果があるようでした。

そこで、登場したのが、草刈り作業をしてい  
る?「かかし」です。遠くから見ていた方から、  
「ずっと草刈りをやっててご苦労だねえ」と  
言われたそうです。

これからもしっかりとお米を守って働いて?  
下さいね。お願いします。

(撮影・執筆 四家誠)

## Topics

# 加新しい農業委員会委員がわりました

欠員が生じていた農業委員会委員が決定し、内田広之いわき市長より辞令書が交付されました。



○交付式  
日時 令和7年11月10日（月曜日）午後5時  
場所 いわき市役所第3会議室  
○氏名 加茂直雅（かもなおまさ）  
○任期 令和7年11月10日から令和9年7月7日まで



○交付式の光景



○営農型太陽光発電設備の下部の営農状況調査の様子

- ①新規就農者の耕作状況調査
- ②転用行為の進捗状況調査
- ③営農型太陽光発電設備の下部の営農状況調査
- ④非農地に係る状況調査



○非農地に係る状況調査の様子



○新規就農者の耕作状況調査の様子

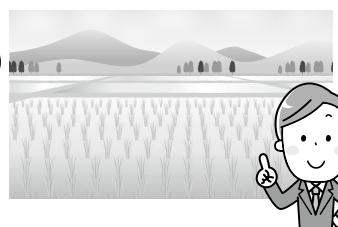
農業委員会は、農地法に基づき農地の利用状況調査（農地パトロール）を行っています。昨年8月から11月にかけては「農地パトロール強化月間」とし、市内を8つの地区に分け、農業委員と農地利用最適化推進委員が合同で次の調査を行いました。

今後は調査の結果に基づき、農業者や地権者へアドバイスなどを行っていきます。なお、田畠の所有者・耕作者は適正かつ効率的な農地利用を行う責務があります。農地を遊休化させないよう日頃から適正な管理をお願いします。

## 農地パトロールを実施しました

# 農地流動化情報

Vol.66



農業委員会では、耕作を目的とする農地情報の収集・提供を行っています。売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談下さい。

## 売りたい

No.	農地の所在地	地目	面積(a)
1	平下高久字原 外1筆(2筆)	畠	8.42
計 (2筆)			8.42

◎ご覧になって、手続き等の詳細を知りたいという方は、農業委員会事務局までお問い合わせください。  
1月5日(月)8時30分から受付開始します。

## 貸したい

No.	農地の所在地	地目	面積(a)
2	山田町元身取 外2筆(3筆)	畠	8.42
3	三沢町田島 外1筆(2筆)	田	48.15
4	平泉崎字馬場 (1筆)	田	8.15
5	小川町関場字高垣 外6筆(7筆)	田	83.14
6	小川町関場字高垣 (1筆)	田	12.94
計 (14筆)			160.80

お問い合わせ先 農地調査係 ☎0246-22-7574

ご存じですか？

メリットが多い制度です

## 農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

### 【農業者年金の特徴】

- 農業だけが加入できる国民年金の上乗せの公的年金です。
- 少子高齢時代に強い積立方式・確定拠出型です。
- 保険料は自分で決められ、いつでも見直しできます。  
(2万円～6万7千円の範囲内から千円単位)
- 終身年金です。80歳前にお亡くなりになった場合、死亡一時金があります。
- 任意脱退が可能ですが、脱退一時金はありません。
- 保険料は全額社会保険料控除の対象、年金資産の運用益の非課税です。
- 支払った保険料は、加入期間に応じ、任意脱退しても将来支給できる年金額に反映されます。
- 加入後は、国民年金の付加年金(月額400円)に加入していただく必要があります。

農業者年金基金の  
シミュレーターで  
受け取り年金額を  
試算ができます！

詳しくは…

農業者年金基金  
ホームページ



<https://www.nounen.go.jp/>

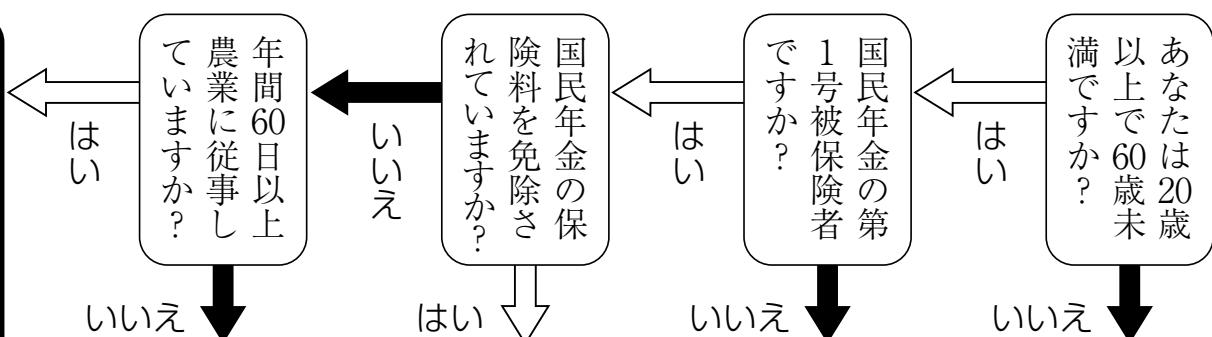
農業者年金基金

検索

加入しているかどうか問わず、制度や手続きについて、専門相談員 03-3502-3199  
専門相談員に質問や相談ができます。

※平日午前9時～午後5時まで

農業者年金に  
加入できます！



農業者年金に加入できません

お問い合わせ先 農政振興係 ☎0246-22-7534

地区だより

常磐・小名浜地区



## 「水は農の命」、鮫川堰土地改良区による鮫川水利の確保と維持

常磐・小名浜地区の豊かな農業を支える基盤の一つに、「鮫川堰土地改良区」による鮫川堰土の確保があります。鮫川堰土地改良区は昭和27年に組織が整備され、今日に至るまで広域の耕地に自然流下方式で安定的に用水を供給し、耕地を潤していました。近年は猛暑による蒸発増加や降水の偏りによって、水源の流量低下が課題となりました。こうした中でも夏期の渴水に備え、鮫川堰土地改良区ではトンネルの大規模改修が県営事業として採択され、いよいよ今年度から本工事に向けた準備が進められます。また、全国的な気象変動を踏まえ、流域全

て、大型クルーズ船から撮影した日の出の写真です。現在に至るまで複数回にわたり、更新・検討を続け、気候変動に強い流域管理体制を構築中です。このように、見過ごされがちな水路・施設の老朽化対策や、気候変化に対応する広域的な治水計画を進行させることができます。農業と暮らしの安心を守る重要な基盤となっていることは言いません。水は農の命。地味でも確実に支え続ける鮫川堰土地改良区の使命に敬意を表しつつ、今年も持続可能な農業と地域の未来を共に考え、次の世代へ繋いで行きたいと思います。

（撮影・執筆 鈴木忠光）



## 今号の表紙から

「陽はまた昇る」

福島県いわき沖の洋上に

船内には、レストラン、カ

フェ、カジノ、歌謡ショー、カ

お風呂等も設置されてお

り、ホテルと同等のイメー

ジでしたが、一つ難点があ

りました。大型船なので、

揺れないと思っていたの

ですが、小さな波でも揺れ

は感じられ、波が荒れれば

大きく揺れ動くことです。

まさに大小様々に揺れ動く

人生の波を強く感じた次第です。

令和の米騒動という波が発生しましたし、今年も、森

羅万象幾多の困難な波が押

し寄せるかわかりません。

しかし、過去から人々は、

大きく揺れながらも、押し

寄せれる波を乗り越えて来た

のです。

それは、全ての人々の心

に、陽はまた昇るからだと

信じています。

（撮影・執筆 新妻吉人）

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も新たな一年が始まりました。表紙の写真は、明るい一年となることを予感しているようです。「水は農の命」という言葉が地区だよりに出てきましたが、そこから発展して考えてみると「農は人の命」です。農が人の命を支えている、という事実は、米や野菜の価格がどんなに変動したとしても変わりませんし、農はこれからも途絶えることなく確実に受け継いでいかなければならぬもの。ですが、現状のままでは農業人口が急激に減少していくことは避けられないでしょう。この課題にどのように向き合っていくかが、この先10年の課題と言えると感じています。今回、若手梨農家の根本さんの記事がありましたが、このような若手の方がどんどん農業に取り組めるような風潮を作っていく、その一端をこの農業委員会だよりが作って行けるよう、これからも取材していきたいと気持ちを新たにしました。

（執筆 菅野綾）

### 編集委員

鈴木義直委員長・菅野綾副委員長  
蛭田元起・四家誠・鈴木忠光  
木村義昭・新妻吉人・油座盛明

編集・発行



いわき市農業委員会

〒970-8026 いわき市平字堂根町4-8  
TEL.0246-22-7534 FAX.0246-22-7538

農業委員会ホームページ

<https://www.city.iwaki.lg.jp>内の  
キーワード『農業委員会』

No.207

